

門脈圧亢進症に対する侵襲的治療を受けられた患者様へ ～お知らせとお願い～

当院では日本門脈圧亢進症学会医療安全委員会に協力し、門脈圧亢進症に対する侵襲的治療（内視鏡・IVR・手術）における偶発症に関する調査を行っております。

これらの治療における偶発症の頻度を把握することにより、今後より安全に治療を行っていくための指標となるものと考えております。

つきましては、門脈圧亢進症に対する侵襲的治療（内視鏡・IVR・手術）を行った際のデータを使用いたしますことにご同意をお願い申し上げます。

【ご協力いただきたいこと】

- あなたが以前に受けた門脈圧亢進症に対する侵襲的治療（内視鏡・IVR・手術）を行った際の偶発症の有無をカルテに記載されている内容を見て調査させていただきます。

【ご協力にあたり、ご理解いただきたいこと】

- 本調査は、本学医の倫理審査委員会による審査・承認および学長による許可を得た研究です。
- 本調査は、日本門脈圧亢進症学会医療安全委員会が監督の元、奈良県立医科大学が統括しています。研究費は日本門脈圧亢進症学会学術調査費により賄われ、利益相反はありません。
- 調査は、当科の担当医が、カルテに記載されている検査結果などを元に、所定の調査票に記入することにより行います。あなた個人に、直接お問い合わせすることは一切ありません。
- 調査内容は、日本門脈圧亢進症学会事務局を通じ、情報を統括している奈良県立医科大学消化器・内分泌代謝内科に送られます。
- 参加者のカルテ上の集積期間：手術例 2015年1月1日～ 2017年12月31日
内視鏡・IVR 2016年1月1日～ 2017年12月31日
研究期間は承認後 ～ 2019年12月31日です。
解析期間は承認後 ～ 2020年6月30日です。
- あなた個人の情報は、厳重に管理します。
調査票には、「氏名、性別、生年月住所、電話番号」など、すぐに個人を特定できる情報は記載しません。また、調査票の内容は、全体として集計するのみであり、個人の内容が外部に漏れることは決してありません。全体として集計した結果は、学術論文等で公表することがありますが、結果を公表する場合にも、個人名が出ることは決してありません。
- 調査にご協力いただけない場合であっても、そのことでいかなる不利益も受けることはありません。ご協力いただけない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。あなたの情報を速やかに消去いたします。また、この調査について、ご質問などがありましたら、主治医または下記までお問い合わせください。

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇病院 〇〇〇〇科 担当 〇〇〇〇
電話 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇